

めぐみイエス・キリスト教会

2020年11月22日(日)第IV主日礼拝
週報「通算第533号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」	p. 402
【交読文】	No.1詩篇第1篇	p. 879
【賛美Ⅱ】	新聖歌439「険しき山道か」	p. 710
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美No.13「主をほめたたえ続けよ」	
【聖書朗読】	使徒の働き7章37節～45節(2017新約p. 246上段)	
【礼拝説教】	《ステパノの弁明そのⅢ(一人の預言者)》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

●ポイント1.「私のような一人の預言者を起こされる」とは？

※申命記18章15節～18節「神の山ホレブにて」 (旧約p.348上段)

18:15 あなたの神、【主】はあなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のような一人の預言者をあなたのために起こされる。あなたがたはその人に聞き従わなければならない。

18:16 これは、あなたがホレブでのあの集まりの日に、あなたの神、【主】に求めて、「私の神、【主】の御声は二度と聞きたくありません。この大きな火はもう見たくありません。私は死にたくありません」と言ったことによるものである。

18:17 それで【主】は私に言われた。「彼らの言ったことはもつともだ。

18:18 私は彼らの同胞のうちから、彼らのためにあなたのような一人の預言者を起こして、彼の口に私の言葉を授ける。彼は私が命じることすべてを彼らに告げる。」

※ヨハネの福音書1章19節～21節「最高法院からの調査団」(新約p.176)

1:19 さて、ヨハネの証しはこうである。ユダヤ人たちが、祭司たちとレビ人たちをエルサレムから遣わして、「あなたはどなたですか」と尋ねた時、
1:20 ヨハネはためらうことなく告白し、「私はキリストではありません」と明言した。

1:21 彼らはヨハネに尋ねた。「それでは、何者なのですか。あなたはエリヤですか。」ヨハネは「違います」と言った。「では、あの預言者ですか。」ヨハネは「違います」と答えた。

●ポイント2.「ステパノが引用した預言」とは？「モレク」と「ライパン」とは？

※アモス書5章25節 ～27節「紀元前760年頃の預言」(旧約p.1567上段)

5:25「イスラエルの家よ。あなたがたは荒野にいた四十年の間に、いけにえとささげ物を、私のところに携えて来たことがあったか。

5:26 あなたがたは自分たちの王シクテと自分たちの像キュン、自分たちのために造った神々の星を担いで来た。

5:27 私はあなたがたを、ダマスコのかなたへ捕らえ移す——その名が万軍の神である【主】が言われる。」

※第 I 列王記11章5節～7節「知恵者ソロモンの失敗」(旧約p.616下段)

11:5 ソロモンは、シドン人の女神アシュタロテと、アンモン人の、あの忌むべき神ミルコムに従った。

11:6 こうしてソロモンは、【主】の目に悪であることを行い、父ダビデのようには【主】に従い通さなかった。

11:7 当時ソロモンは、モアブの忌むべきケモシュのために、エルサレムの東にある山の上に高き所を築いた。アンモン人の、忌むべきモレクのためにも、そうした。

●ポイント3.「私たちに与えるための生きたみ言葉」とは？

※ヨハネの福音書1章1節～2節「使徒ヨハネの言葉」(新約p.175上段)

1:1 初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。

1:2 この方は、初めに神と共におられた。

◎先週のメッセージの概要【ステパノの弁明Ⅱ(モーセ)】

《まず始めに、ステパノは主イエスこそ、神様がアブラハムに約束された「祝福の源」であることを証しました。そして次に、神の人モーセこそ、来たるべきメシア、主イエスのひな形であることを証明して行くのです。

モーセが誕生した頃のことです。ファラオは、イスラエルの生まれた男の子はみな、ナイル川に投げ込むことを命じたのです。モーセの母は、ついに隠しきれなくなり、ナイル川に籠に入れて流します。すると王女がその籠からモーセを取り出し、自分の子として育てます。主イエスも同じ境遇を辿ります。ヨセフも自分の子として育てるからです。モーセが命を狙われたように、主イエスは、国主ヘロデ大王に命を狙われます。

モーセが 40 歳になった時、彼は自分がユダヤ人であることを知ります。そして同胞イスラエル人を釈放する為に、動き出します。しかしイスラエル人はモーセを、出エジプトに導くメシヤとは信じようとはしません。モーセはミデヤンの地に逃亡し、そこで 40 年間羊を飼うこととなります。

そして、主イエスも同じように、故郷ナザレにおいては、メシヤであることを、人々からも家族からも信じてもらえなかったのです。

モーセが救い主のひな形である最大の特徴は、神様がモーセの手を通して、奇跡と不思議とを行なったことにあります。しかしイスラエル人は数々の奇跡を見ながらも、真の神様を信じる事が出来ませんでした。

主イエスも、30 歳になって、多くの奇跡と不思議を行なわれました。メシアとしての多くのしるしを、直に見ても、ユダヤの指導者たちは、主イエスを信じる事が出来なかったのです。それ故に主は、ステパノを通して、再三にわたり、ご自身こそが、約束されたメシアであることを証しています。奇跡や不思議は素晴らしいことです。しかし、たとえそれを直に目にしたとしても、救いにはつながらないことを、聖書は明確に表しています。人が救われることこそが、最大の奇跡なのです。そして先に救われた私たちこそが、その奇跡の証拠であり、生きた証しなのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は11月29日(日)教会において行ないます。聖書勉強会と祈り会は、年末まで毎週水曜日に各家庭において行ないます。